

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)				区分・【新主題】/(分野)		授業形式										
EU41B302		学校マネジメント総合演習Ⅱ(Integrated Study of School Management Ⅱ)				実践演習科目												
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択必修		2	1	教育学研究科	後期	水1	氏名 熊丸真太郎, 清國祐二, 大島崇, 山本遼, 渡邊英樹, 安田憲司, 久保隆											
		E-mail kumamaru@oita-u.ac.jp 内線 7550																
授業の概要	第1回では、学校マネジメントのポイントを改めて概説し、学校マネジメントへの理解を深める。																	
	第2・3回では、教員評価のロールプレイを実施し、効果的な実施方法について討議することで、スクールリーダーとしての実践力を高める。																	
	第4～7回では、マネジメントの具体的事例をもとに課題を発見し、解決策を検討することで、学校マネジメントの実践を多面的に捉え、新たな学校マネジメントをデザインする能力を高める。																	
	第8～13回では、小・中学校のフィールドワーク及びその省察を行い、学校の課題の分析と、その解決方策の検討を通して、学校の諸課題を解決するマネジメントのあり方																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	学校マネジメントの実践を多面的に分析する							○	○				○					
目標2	学校の諸課題をマネジメントの観点から分析する								○						○			
目標3	学校の諸課題を解決するマネジメントのあり方を提案する								○		○		○	○				
目標4	学校マネジメントにおけるスクールリーダーシップのあり方を提案する							○	○			○		○	○			
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1	イントロダクション：学校マネジメントのポイント																	
2	教員評価の実践演習（1）教員評価システムの検討																	
3	教員評価の実践演習（2）教員評価面談のロールプレイ																	
4	学校マネジメントの事例分析演習（1）ミドルリーダーの育成																	
5	学校マネジメントの事例分析演習（2）機能的な組織づくり・業務の見直し																	
6	学校マネジメントの事例分析演習（3）保護者対応																	
7	学校マネジメントの事例分析演習（4）開かれた学校づくり																	
8	小学校へのフィールドワークの実施（1）授業見学及び施設見学																	
9	小学校へのフィールドワークの実施（2）管理職との学校経営に関する意見交換																	
10	小学校へのフィールドワークの省察																	
11	中学校へのフィールドワークの実施（1）授業見学及び施設見学																	
12	中学校へのフィールドワークの実施（2）管理職との学校経営に関する意見交換																	
13	中学校へのフィールドワークの省察																	
14	院生提案の課題の検討（1）																	
15	院生提案の課題の検討（2）																	
ラーニング目標	A:知識の定着・確認		○	時間外学修（宿題）、調べ学修（文献、インターネット）、プレゼンテーション、ディスカッション（ガイド付き・フリー）、事例研究、ロールプレイング（机上訓練）、学びの省察							工夫その他の							
	B:意見の表現・交換		○															
	C:応用志向		○															
	D:知識の活用・創造		○															
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	授業資料の読解、疑問点の集約、該当回におけるプレゼンテーションの準備（20h）																
	事後学修	授業で学習したことを整理し、獲得した知識等の定着を図るとともに獲得した知識等を用い、課題解決の方策を考える(10h)																
教科書	教科書は指定しない。																	
参考書	日本教育経営学会実践推進委員会編『次世代スクールリーダーのためのケースメソッド入門』花書院、2014年、ISBN9784905324980 日本教育経営学会実践推進委員会編『次世代スクールリーダーのための「校長の専門職基準」』花書院、2015年、ISBN9784865610352 浜田博文『学校を変える新しい力―教師のエンパワーメントとスクールリーダーシップ』小学館、2012年、ISBN9784098401260																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、課題に取り組む姿勢、討論への参加など)	70%	○	○	○	○												
	最終レポート(本授業において学んだ事や今後解決すべき課題など)	30%	○	○	○	○												
注意事項	本授業においては、擬似的な学校現場を想定し、院生間の相互作用的なコミュニケーションに基づく学び合いを重視する。とくに、各自のバックグラウンドの違いや経験値の差を積極的に利用し、自分自身のバイアスや固定観念を省察することに努めてほしい。																	
備考																		
リンク																		
	URL																	

担当教員の 実務経験の 有無	○
教員の実務 経験	渡邊（小・中学校、教育委員会事務局）／安田（教育委員会事務局）／久保（中・義務教育学校）／清國祐二（高等学校）
実務経験を いかした教 育内容	小・中学校長及び教育事務所長（渡邊），教育事務所長（安田），義務教育学校長（久保），高等学校教諭（清國）としての実務経験をもとに，学校マネジメント全般に係る指導を行う。